

## 南仏治安情報(2010年4月)

### ■プロヴァンス地方

#### 1. 商店等への武器を用いた強盗事件が多発

4月に入りマルセイユ市を中心に、武器を用いた強盗事件が17件起こりました。被害は主にタバコ屋やガソリンスタンド等の小型商店、美容室などで、19時以降の夜間に多く見られました。犯人は2~3人と複数であることが多く、拳銃などのほか催涙ガスを用いて従業員を脅す手口が見られました。

#### 2. 銃等を用いた発砲事件

4月には地方紙が報じたものだけでも、マルセイユ市を中心に10件の発砲事件が起こりました。グループ間抗争の報復によるものと思われる事件の他、酔っ払い同士や2家族間の喧嘩が激化した末の事件や、走行中のバスやバー等の店舗を狙ったものもありました。

#### 3. La Ciotat 市での空き巣事件が増加

2010年に入り La Ciotat 市では空き巣の被害が増加傾向にあり、市は注意を呼びかけています。被害の多くは日中に起きており、留守宅から小型の家電や貴金属、現金など持ち出しやすいものを中心に盗んでいるようです。改めて施錠や貴重品の保管には注意してください。

#### 4. 現金引出機を狙った事件

4月にはマルセイユ市11区、13区とエクス・アン・プロヴァンス市内で、現金引出機を大型車両や爆発物で破壊する窃盗未遂事件が3件起こりました。またエクス市では4月19日6時30分頃に、現金引出機に補充に来た作業員2名が待ち伏せされ、拳銃で脅され多額の現金を盗まれる事件も起こりました。

### ■コートダジュール地方・コルシカ島

#### 1. 現金輸送車や現金引出機の作業員を狙った強盗事件

4月20日7時頃、ニース市 Cessole 大通りの銀行前で現金引出機に現金を補充する作業員が、複数の武装した男に襲われる事件がありました。同様の事件は当地方に限らず最近多く見られており、犯人は嚴重に武装していることが多く大変危険です。事件に巻き込まれることのないよう充分ご注意ください。

#### 2. 日本刀を用いたバス内での暴力事件

4月18日午前中と24日22時30分頃、市内バスの運転手が4人の若者グループに取り囲まれ、日本刀で殺すと脅される事件が起こりました。ニース市北部を通る路線などで事件は起きており、幸い運転手にも乗客にも怪我人はなく、現在犯人のほとんどが取調べを受けています。

#### 3. ニース駅北側の治安悪化

ニース駅北側の Clément-Roassal 通りでは、夜間に13歳から20歳の若者が集まり、麻薬取引や飲酒に伴う激しい喧嘩、また近隣の住宅の器物、駐車中の車両を破壊する

などの事件が増加してきています。警察のパトロール強化にも関わらず若者は増える一方で、夏季に向け住人からは監視カメラの設置が強く求められています。

#### 4. コルシカ島での連続暗殺事件

4月19日7時頃 Sartène 市路上で車を運転中の71歳男性が、何者かにより散弾銃で暗殺される事件が起きました。また同日22時には Propriano 市でレストラン経営者の60歳男性が同じく車を運転中に散弾銃により暗殺されました。いずれの事件もコルシカ島南部のグループ間抗争によるものの疑いが強く、捜査が進められています。

### ■ミディ・ピレネー地方

#### 1. 情報機器を狙った企業への空き巣被害が頻発

4月5日トゥールーズ市内で27歳の男が、企業への空き巣14件への関与の疑いで逮捕されました。市内では企業を狙った空き巣被害が今年に入り増加しており、主にノートパソコンが盗まれています。これらは企業秘密のデータのために盗まれるのではなく、盗み出しやすいことや街中で即時に300～500ユーロで転売しやすいという理由で狙われているようです。

#### 2. トゥールーズ市中心部での暴力事件が増加中

若者等で夜間賑わう St Pierre 広場などトゥールーズ市中心部では、2010年2月に109件もの暴力事件が起きましたが、4月に入ってもこの傾向は依然続いており、警察のパトロール強化や監視カメラの増強などが検討されています。事件のほとんどが通行人への些細な言いがかりが発端で、携帯電話やタバコを狙った恐喝事件へ発展するものも多いようです。

#### 3. モンペリエ市内での夜間の暴力事件

4月に入りモンペリエ市内では、夜間に走行中のバス車内で運転手や車掌が違反乗車をしている複数人から暴力を受けたり、タバコを求められて拒否した通行人や、映画館で騒いでいた男を注意した観客が激しく暴行される事件が起きました。犯人は泥酔していることが多く、改めて夜間の外出には充分注意するようにしてください。

#### 4. 車上荒らし急増に対する注意勧告

オート・ガロンヌ県では2010年1～3月の車上荒らしの被害が5867件と、昨年同時期に比べ986件もの増加を見せています。3月末にはトゥールーズ市内で25歳の路上生活者2名が、150件以上の車上荒らしへの関与の疑いで逮捕されました。警察は改めて、駐車車両への施錠、外から見える車内に貴重品を置かない、個人情報や記されたものを車内に残さないなどの注意を呼びかけています。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。